

CHARLES BERLING SOPHIE GUILLEMIN ARIELLE DOMBASLE  
UN FILM DE CÉDRIC KAHN  
D'APRÈS LE ROMAN DE ALBERTO MORAVIA

# L'ENNUI



倦怠 [けんたい]  
いやになり、なまけること。退屈。

R-18

僕は人生の倦怠期だった。彼女に会うまでは――。

# 倦怠

KEN  
TAI

1998年度ルイ・デリュック賞受賞 セドリック・カーン監督作品 アルベルト・モラヴィア原作  
(河出書房新社刊)  
シャルル・ベルリング ソフィー・ギルマン アリエル・ドンパール

1998年・フランス映画・120分・カラー・アメリカンビスタ・ドルビーSR 配給：セテラ・インターナショナル



# 小池真理子——性にとりつかれた倦怠

ここには、どれほど愛の行為を繰り返しても、男が決して所有することができない女が描かれている。美人でもなければ、はっとするほどの肢体の持主でもない、ただの十七歳の小娘であるにもかかわらず、彼女は男を乱心させ、絶望の淵に立たせる。

男が「僕のことを愛してる?」と聞けば、「愛してるわ」と無邪気に答える。「どのくらい?」と聞けば、「とっても」と目を輝かせる。なのに、次の瞬間、女はもう、別の世界にいる。追いつくがれば優しい目をして振り返り、来るなど言っても訪ねて来てくれる。にもかかわらず、女は男のものになってくれない。生まれつき道徳観念が完全に欠落していて、いいことも悪いことも理解していないどころか、考えたこともない、したがって徹底して無欲な女なのである。そういう娘に振り回されるインテリ男の物語である。

アルベルト・モラヴィア原作の、同名の小説を、熱狂的モラヴィア・ファンであった私はこれまでに数えきれないほど繰り返し読んできた。まさに溺れるようにして親しんできた小説が映画化されると聞けば、心配にもなってくる。映画としての独創性を追いかけるあまり、原作とかけ離れたものになってしまうケースが多いからである。

だが、それも杞憂に終わった。この映画には、モラヴィアが生涯、その作家生活を通してこだわり続けたテーマがそっくりそのまま、描かれている。それは即ち、人間の奥底に横たわる孤独であり、果てしない疎外感であり、説明のつかない不安であり、性であり、そして文字通りの「倦怠」...である。

現代社会を生きる私たちの日常は、ここに描かれている男と女の関係、そのものだと考えることもできるのかもしれない。モラヴィア・ファンならずとも、必見の映画といえる。



## 監督 セドリック・カーン

1966年生まれ。処女長篇『鉄道バー』(’92)でいきなりヴェネチア映画祭批評家週間に選出され、2作目『幸せ過ぎて』(’94)ではジャン・ヴィゴ賞とカンヌ国際映画祭の若手監督賞を受賞。その視点の鋭さと視界の広さは他の追随をゆるさないものがある。フランス全土で大ヒットとなった本作『倦怠』では、その年一番革新的な映画に贈られるルイ・デリュック賞を受賞。数々の新聞・雑誌が彼のインタビューを敢行、映画の特集記事を組んだ。



## 新鮮なインパクト! 21世紀のヴィーナス誕生。

圧倒的な存在感で、フランス各誌の辛口の批評家たちを唖らせたヒロイン、ソフィー・ギルマン。全くの素人が、フランス映画界をリードするトップ・スター、シャルル・ベルリングを相手に堂々たるデビュー。本作で98年度セザール賞新人女優賞にノミネートされた後、女優の道を着々と邁進している。



## 原作 アルベルト・モラヴィア (1907~1990)

小説家・映画脚本家。ゴダールの『軽蔑』(’63)やベルトルッチの『暗殺の森』(’70)をはじめとする名作映画の原作でも有名。60年に発表された『倦怠』は忽ちベストセラーとなり、61年度ヴィアレージ賞を受ける。63年、ダミアノ・ダミアニ監督によって映画化され、日本でも『禁じられた抱擁』というタイトルで公開された。



【物語】 哲学教授のマルタンは30代半ばですべてに行き詰まっていた。ふとしたことから知り合った17歳の少女と関係を持つうちに、彼女へのこだわりが思いもよらなかった方向へ暴走してゆく。それは愛なのか、所有欲なのか。SEXの時だけ燃える少女。自分の理解を超えた人間に相対して四苦八苦する男。男女の恋愛、二人の関係のズレという普遍的なテーマを、奇抜なストーリー展開で斬新に描く。近年稀な多様な豊富なセックス描写のため、R-18指定となったが、無修正・ノーカットで上映。

### 1998年度ルイ・デリュック賞

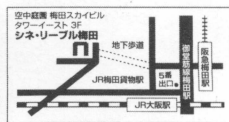
監督 セドリック・カーン  
原作 アルベルト・モラヴィア(河出書房新社)  
製作 バウロ・ブランコ  
脚色 セドリック・カーン  
ローランス・フェレイラ・バルボッサ  
撮影 パスカール・マルティ

編集 ヤン・デデ  
美術 フランソワ・アブラネット  
出演 シャルル・ベルリング  
ソフィー・ギルマン  
アリエルドン・バル  
ロバート・クレイマー  
1998年/フランス映画/120分/カラー/アメリカン・ビスタ/ドルビーSR  
配給 セテラ・インターナショナル  
Culture

## 2月17日(土)より<解禁>のロードショー!!

特別鑑賞券 1,500円(税込) 絶賛発売中!  
当日料金:一般1,800円/学生1,500円/シニア1,000円(税込)  
\*\*「倦怠」オフィシャル・サイト <http://www.kentai.tripod.co.jp> \*\*

「大阪・梅田に新しいロードショー劇場誕生!!」  
梅田スカイビル タワーイースト3F  
シネ・リーブル梅田  
06 (6440) 5930  
連日 11:00 1:30 4:00 6:30  
<http://www.nikkatsu.com>



※ 定員入替制